

R—CHOP を投与されたことのある患者さん、またはご家族の方へ

当院では、以下の後方視的観察研究を実施しています。

研究内容

悪性リンパ腫(びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫, DLBCL)における R-CHOP 6 コース後のリツキシマブ単剤の上乗せ効果について調査します。

研究機関

NTT 東日本関東病院血液内科

研究責任者

鴨田吉正(NTT 東日本関東病院血液内科)

共同研究者

白杵憲祐(NTT 東日本関東病院血液内科)

赤坂尚司(天理よろづ相談所病院血液内科)

研究の目的

DLBCL の治療は 6 コースの R-CHOP が標準となりつつあるが、リツキシマブの至適用量についての検討は十分になされていません。そこで、6 コースの R-CHOP 後に 2 コースのリツキシマブを追加することの、患者の予後に与える影響について検討します。

研究の方法

対象：2007 年から 2018 年の間に R-CHOP を用いて DLBCL の治療を受けた方

方法：診療録情報を利用して検査結果などの臨床情報を収集し、予後の解析を行います。

費用負担

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

個人情報の取扱い

患者さんの情報は、個人を特定できる情報(氏名、生年月日、住所、電話番号等)とは切り離れた上で、固有の整理番号を付与して分析します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発

表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

研究成果について

調査研究の結果などの知的財産が生じる可能性もありますが、その権利は病院・研究者に帰属し、個別の患者さんには帰属しません。

研究資金および利益相反について

この研究は、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

情報公開を拒否したい場合の連絡先

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから個別の同意取得はせず、その代わりに、対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

問い合わせ先

NTT 東日本関東病院 鴨田吉正

141-8625

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話 ; 03-3448-6111